

(平成20年度実施事業)

事業評価表

事業CD. 0106103 - 06010

京都府南丹市
作成日: 平成21年05月11日

事業名	担い手育成事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	担い手協議会事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	農林商工部 農政課 担当: 松本
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 233 関連法令・条例等	農業経営基盤強化促進法	

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
第2章3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる
管内の農業者、集落営農組織の育成・支援を目的に、市、府、農業委員会、共済組合、JA、生産者、農業士によって構成。南丹ブランド生産者の創出、育成を多角的に実施していくことにより、南丹ブランドの生産拡大と生産者の経営改善、向上を図る。
- ②事業を実施する必要性
関係機関が個別に実施していくのではなく、協議会を通じて一体的に実施することにより、農業者に対する支援を効率的、多角的に実施することが可能になるため、農業者への寄与は大きい。
- ③未実施事項
特に無し
- ④他にも効果が見込める施策があるか
第4章5 未来を担う人づくりを進める
=産業を担う人材育成のための支援として、新規就農者等の支援を行う。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円		400	350	310	
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円		0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	
	国・府支出金	千円		0	0	
	地方債	千円		0	0	
一般財源	千円		400	350	310	
職員等従事人員	人/年	—	—	0.45		
人件費	千円	—	—	2,609		
事業費総額	千円	—	—	2,959		

【主な支出の内訳】

H20年度実績
南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 350千円
※京都府からも同様に協議会に対し運営補助金有り
H20年度実績 300千円

【近隣市町村の取り組み状況】

担い手育成総合支援協議会については、京都府協議会を筆頭に府下ほぼすべての市町村において設置され、現在22協議会設置されている。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

※前年事業評価なし

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
新規就農者支援の充実。
- ②当該事業のアピール事項
関係機関の意見を踏まえて就農支援が可能になる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
引き続き実施すべき協議会である。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	233	事業名	担い手育成事業		
事業CD.	106103-06010	細事業名	担い手協議会事業		
所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当	

106103-06010

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
協議会活動	●平成20年度総会 (会場:南丹市役所2号庁舎3階301会議室) 平成19年度の活動報告及び決算報告並びに平成20年度活動計画(案)及び予算(案)について審議を受け、承認をいただく。	4月24日午後1時30分 ~	出席者 9名(委任状5名)
補助金交付	●南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 協議会活動の円滑な実施を支援するため、協議会に対し補助金を交付	4月30日~3月31日	南丹市担い手育成総合支援協議会運営補助金 350千円